

JAPAN CHALLENGER AWARD For youth



報告書

JAPAN CHALLENGER AWARD for youth

拝啓 ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

去る5月29日、JAPAN CHALLENGER AWARD for youthを盛況のうちに終えることができました。皆さま方には様々なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

学生の素敵な想いを育み、発信する場所を提供すると共に「自分らしく生きる」という生き方を考えるきっかけを作ることを目的として、本プロジェクトを企画・運営いたしました。

関西に住む／学ぶ／働く仲間が大きな舞台に立ち、自らの想いを発表することで、それを聞いた大学生一人一人が、自らの生き方について考え、自らの想いの実現に向けて一步を踏み出すきっかけとしてもらいたい。

そして、ただの想いに終わることなく、熱く強い志をもった学生起業家をこの関西から生み出したい。そんな思いの中、活動してまいりました。

これからも、大学生が起業を身近に感じ、全国へ、世界へ羽ばたく起業家を輩出するために、「JAPAN CHALLENGER AWARD for youth」が継続して実施できれば幸いです。これからもどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

敬具

令和3年6月 吉日

JAPAN CHALLENGER AWARD for youth 運営事務局

- 日時：2021年5月29日（土曜日）
13:00~16:00（15:00~16:00は交流会）
- 場所：Impact Hub Kyoto
（〒602-8061 京都府京都市上京区甲斐守町97）
- 規模：40名（学生30名・社会人10名）
※Youtubeを活用したオンライン配信を実施。
- 主催：公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 協力：Oriai inc. / Impact Hub Kyoto
- 協賛：類設計室・（株）リンクアンドモチベーション
- 内容：学生に4名による夢のプレゼンテーション・京丹後の高校生による発表
社会人を含む学生交流会



(1) 峰山高校の高校生による発表

京丹後市にあるRootsと会場をzoomで繋ぎ、峰山高校の高校生プレゼンを行いました。



(2) プレゼンテーション

4名の選ばれた学生起業家が皆さんの前で事業のプレゼンテーションを行いました。



! " # \$ %
 &' () * +, - .

/ O 1 2 " 3 4 5 6 7 8
 9 : ; < = > ? @ A B
 - C D E F / 8 9 G H I J
 2 K L 5 M N O P Q R

S T) U %
 & V W X F) * +, - .

Y Z [\] ^ _ ` 1 @ V
 W) * a b c - d 3 e + 2
 f g h R \] ^ 7 i j G k l
 m G 2 n o p a q 2 r s 2
 t u v 1 w x y z { k | } l ~
 5 • € i • x R

! " # \$ %
 &) ,) * f , - .

„ ... † | 2 ‡ ^ % v Š < 1
 € • Ž • 0 • • s 7 ' ' 5 "
 " @ „ ... G G • — — 5 ~ ™ 1
 Š > 1 w x † | æ G 2 L ? •
 ž A R Ÿ ` 1 „ ... G G H I
 J 5 j K € x £ ¤ 1 H z m ¥
 | | ... Š " ... © ª « O i • x R

% & ' (%
 &) - - L) * ® - .

Š < 2 ° ± % ² ³ ´ μ
 5 ' ' 7 ¶ · r , * - s 2
 1 { ° ... © † | æ G 5 » ¼ R
 — ... z ½ ... • 1 ¾ ¿ ¤ x
 Å Å Å Š J 1 , * - v Š <
 ± % 7 Ä Å x Æ Ç 5 È É ¤
 x R

審査委員長
三浦 弘之 様
株式会社類設計室

審査委員
中村多伽 様
株式会社taliki

審査委員
原田 岳 様
Impact Hub Kyoto

審査委員
西井 香織 様
NEWRON株式会社



(2') 投票

プレゼンテーションの後、審査員と参加者の皆さんにスマートフォンより投票をして頂きグランプリを決定いたしました。

【審査基準】

① 共感性

みんなをワクワクさせるものか。

② 社会性

世の中を良くする内容か。

③ 具体性・計画性

夢を具体的に描き、前進しているか。

④ パフォーマンス性

自分の夢をしっかりと伝え、観客を魅了できているか。

各項目25点満点/合計100点で審査を実施。
審査員の合計点数+観客投票にてグランプリを決定。



(2") 結果発表

皆さんの投票の結果、谷間大祐さんがグランプリに決定しました。



緊急事態宣言下でのイベント開催に於いて、万全の対策を行い実施いたしました。

① アルコール消毒の徹底

定期的にスタッフからアルコール消毒のアナウンスを行い、マイクや備品等にもアルコール消毒を行いました。

② 全員マスク着用の徹底

プレゼンターも含めマスク着用を徹底し、開催いたしました。

③ ソーシャルディスタンスの徹底

審査員や観客との席の間隔などソーシャルディスタンスを保ち、イベントを運営いたしました。

④ 感染症マニュアルの作成

京都市の感染症マニュアルに沿って、ガイドラインを作成しました。

⑤ オンライン配信の実施

Youtubeライブを活用し、ライブ配信を行いました。

⑥ 参加者リストを確保

イベント当日の参加者・チャレンジャー・審査員全員の連絡先を確保し、緊急時でも対応できるようにいたしました。



【プレゼンター】 延原令奈 / 谷間大祐 / 平田英聖 / 石崎祐太

【パフォーマンス】 尾前奈那

【司会】 山本凜

【ゲスト】

三浦 弘之 様 (株式会社類設計室)

原田 岳 様 (Impact Hub Kyoto /株式会社taliki)

西井 香織 様 (NEWRON株式会社)

中村 多伽 様 (株式会社taliki)

【運営】

廣田修造 羽山健 樋尾昇馬 倉本幹太郎 上野紗和 川上直子

【撮影】 市川卓磨

【オンライン配信】 紙谷貴比呂

【当日ディレクター】 松井大介 / 仁井ひな

【総合プロデューサー】 東田一起

収入の部			支出の部		
内容	金額	入金予定日	内容	金額	領収書
類設計室	150,000	5/21	フェイスシールド	780	有
LMG	100,000	6/30	印刷代	2,657	有
			駐車場代	260	有
			駐車場代	800	有
			郵送費	830	有
			郵送費	1,400	有
			飲食費	8,646	有
			高速代	440	有
			高速代	460	有
			高速代	670	有
			高速代	1,000	有
			高速代	700	有
			ガソリン代	4,800	有
			オンライン配信人件費	9,100	請求書対応
			会場費	30,800	有
			カメラ撮影人件費	1,500	請求書対応
			雑費 (水)	1,189	有
			台本・スライド作成	20,000	請求書対応
			プロデュース代	100,000	請求書対応
			ジャパジャレ	63,968	
合計	¥250,000		合計	¥250,000	